

# 平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】	大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	交流
アカデミー推進 計画における分野	5	国際交流		
分野別の目標	1	国際理解を進める機会づくり		
<b>1 現状と課題</b>				
<p>① 国際理解に関する各種の講座を、対象とする区民（児童・生徒・学生・社会人等）、テーマ、目標を明確にし、効果的に実施していくことが求められています。</p> <p>② 区内の名所・旧跡など歴史・文化資源をはじめ、本区の魅力を外国人に伝えていくことが求められています。</p> <p>③ 区内の大学の人材や施設を活用しながら、国際理解に関する講座を実施するなど、大学、事業者、国際交流団体等と協働していくことが求められています。</p>				
<b>2 基本的な方向・取組状況</b>				取組状況結果資料ページ
(1) 国際理解の推進				31
(2) 多様な文化を学べる機会の充実				31
<b>3 評価対象事業</b>				
事業名	事業の概要			
①国際理解推進事業	区内の大学等で多くの留学生や外国人研究者が学んでいる特性を踏まえ、大学、事業者、国際交流団体等と連絡し、様々なテーマによる国際理解を進める講座を開催します。			
<b>4 分野別評価</b>				
<p>参考：24年度評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際理解を深めるための講座を実施されているが、年数回では開催数が少ない。参加者のアンケート等からニーズを把握した上で、よりバラエティに富む内容となるよう工夫されたい。</li> <li>毎日開放されている観光窓口（観光インフォメーション窓口等）を活用し、国際交流に関する報告や各大学や団体の主催する講座等の情報発信を、日々の窓口業務の中で行っていけるとよい。</li> <li>区内大学で既に実施されている国際理解を推進するための講座を活用するのもよいのではないかと。区内大学等の国際理解講座のうち、文京区として方針に賛同するもの、趣旨を同じくするものの推奨するライセンス（文京区国際認定講座等）の創設などを通じて、知識及び知る機会の情報発信を積極的に行い、区民の国際理解講座受講の全体の機会を拡大させる必要がある。</li> <li>国際理解推進講座や各種交流事業において、区民参加者の意見や視点の事業へのフィードバックの仕組みを整えるうえで、参加者アンケート等を通じた区民ニーズの把握に、より一層努められたい。</li> </ul>				
<p>参考：平成25年度評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アカデミー推進計画における国際交流を推進するため、適切な人員の確保を図られたい。</li> <li>オリンピック・パラリンピックに向けて、訪日した外国人へ日本文化を発信する取組みの充実を検討されたい。</li> <li>区民を中心にして国際理解を進める機会の拡充ができる事業を検討されたい。</li> </ul>				
平成26年度評価				

# 平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】		大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	交流
アカデミー推進 計画における分野	5	国際交流			
分野別の目標	2	国際交流を進める機会づくり			
<b>1 現状と課題</b>					
<p>① 国際交流活動に携わりたいと考えているものの、方法がわからないという区民や外国人のために、そのきっかけとなる情報や機会を提供していくことが求められています。</p> <p>② 国際交流に関する事業を区や区民等が主体的に継続して行うため、国際交流団体、区民、大学、事業者等の連携の仕組みをつくることが求められています。</p> <p>③ 国際交流に関心を持つ区民を、国際交流を担う人材として育成・支援することが求められています。</p> <p>④ 区民と外国人とが共に気軽に利用でき、集うことができるスペースを設けることが求められています。</p> <p>⑤ カイザースラウテルン市や海外都市との交流を一層推進するため、区民に交流の内容を広く知らせ、参加を図ることが求められています。</p>					
<b>2 基本的な方向・取組状況</b>					取組状況結果資料ページ
(1) 交流の機会の拡充					31
(2) 交流を支える人材の育成及び支援					32
(3) 交流拠点の充実					32
(4) 姉妹都市等、海外都市との交流の活性化					32～33
<b>3 評価対象事業</b>					
事業名		事業の概要			
①海外都市との交流事業		姉妹都市カイザースラウテルン市とホームステイ生徒交換事業を中心とした各種交流事業の外に、他の海外都市とも機会ととらえて訪問団の派遣や受入を行い、交流を進めていきます。			
②外国人参加型交流事業		外国人や留学生が、地域行事やボランティアなど、区内で実施されるさまざまな事業に参加できる機会を提供し、区民・外国人の交流と相互理解を進める事業を行います。			
<b>4 分野別評価</b>					
参考：24年度評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・カイザースラウテルン市とのホームステイ事業については、一回のホームステイのみに完結するのではなく、ホームステイに参加した生徒のその後の様子がわかるような仕組みを整えることによって、将来の国際交流がより一層活気あるものとなるではないか。具体的には、区のホームページに生徒のエッセイを掲載し、ホームステイに関する振り返りができるようにする／ホームステイを実施した生徒たちの同窓会を設ける等。</li> <li>・2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、観光分野と国際分野のさらなる連携（観光分野・国際交流分野連携プログラム）が必要ではないか。具体的には、区外からの来訪者や応援団の受け入れ（おもてなし）態勢づくり、練習会場の提供、案内やお世話をするボランティアの確保・充実等。</li> </ul>					
参考：平成25年度評価					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックを踏まえ、市民同士の交流が重要であるため、区民が海外に向いて直接交流を図れる仕組みの拡充を検討されたい。</li> <li>・ヨーロッパ方面との交流は、移動時間等の負担が大きいため、従来の欧米との交流のほかにも、アジア方面との交流に力を入れていく転換期に来ていると考える。区内在住の外国人等、身近な人材を活用した海外都市との交流促進を検討されたい。</li> </ul>					
平成26年度評価					

# 平成27年度 アカデミー推進計画進行管理表（平成26年度実績）

政策・施策 【基本構想上の位置付け】		大項目	コミュニティ・産業・文化	中項目	交流
アカデミー推進 計画における分野	5	国際交流			
分野別の目標	3	外国人が快適に暮らせる環境づくり			
<b>1 現状と課題</b>					
<p>① 外国人が大きな困難を感じずに日常生活を送ることができるよう、生活関連情報や災害等の非常時における多言語対応を進めることが求められています。</p> <p>② 外国人への日本語習得支援を充実させることが求められています。</p> <p>③ 外国人が、地域において区民との交流や各種の活動を行うことができる機会をつくることが求められています。</p>					
<b>2 基本的な方向・取組状況</b>					取組状況結果資料ページ
(1) 外国人の暮らしの支援					33
(2) 地域活動への参加促進					33
<b>3 評価対象事業</b>					
事業名		事業の概要			
①外国人参加型交流事業		外国人や留学生が、地域行事やボランティアなど、区内で実施されるさまざまな事業に参加できる機会を提供し、区民・外国人の交流と相互理解を進める事業を行います。			
<b>4 分野別評価</b>					
<p>参考：24年度評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人の生活支援は幅広く、多くの切り口があるため、現在は各部署がそれぞれ外国人向けの事業を展開している。具体的には、防災課で実施されている、四か国語防災マップ作成など、個々の取り組みについては評価できる。</li> <li>外国人に対する生活支援に関して、簡易な外国人相談については現在広報課で実施されているが、より専門的な部署を設置することで、区内に生活するうえでの実際の区民ニーズに合った幅広い生活支援が実現できるのではないかと。</li> <li>情報発信について、インターネット上には、区内外の様々な団体や国際交流機関のウェブサイトがあるので、それらのリンクを集め、情報を一元化して見つけやすくするなどし、活用の促進を図ることが望ましい。区の国際理解に関する情報のワンストップを実現できるとよい。</li> </ul>					
<p>参考：平成25年度評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文京区は、留学生の割合が高いのが特徴であり、中でもアジアからの留学生が大多数でもあることも踏まえ、オリンピック・パラリンピックに向けて、留学生とともに新たな取組みを実行できるよう検討されたい。</li> <li>留学生の生活支援に関し、区が持つ資源を活用した住宅支援が可能か研究されたい。</li> </ul>					
平成26年度評価					